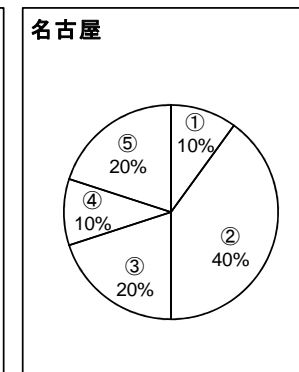
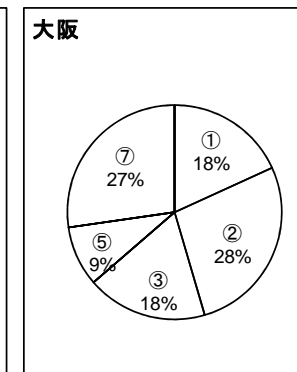
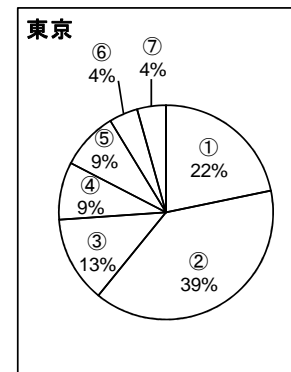


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

Q1. マイナス金利の国債が登場するに至った今日、資産配分等において、どのような対策を実施すべきだと思いますか。最も効果的だと思われるものを、一つだけお選びください。

| ()% | 東京 | 大阪 | 名古屋 | 合計 |
|---|----|----|-----|----|
| ① 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、株式等も含めて、他の多様な資産へ、細かく再配分する。 | 5名 | 2名 | 1名 | 8 |
| ② 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、外国債券、不動産、ローン等の安定インカムの投資対象(非流動的資産を含む)のなかで、多様な資産へ、細かく再配分する。 | 9名 | 3名 | 4名 | 16 |
| ③ 国内債券の組入れ比率を大幅に引き下げて、原則として、外国債券等の流動的な債券(あるいは債券代替資産)のなかで、細かく再配分する。 | 3名 | 2名 | 2名 | 7 |
| ④ 国内債券の組入れ比率を維持しながら、そのなかで、超長期ゾーンなど銘柄選択の問題等として、対応する。 | 2名 | 0名 | 1名 | 3 |
| ⑤ 国内債券の組入れ比率を維持しながら、それ以外のところで、国内金利と関連の低い資産を増やすなどの工夫を行う。 | 2名 | 1名 | 2名 | 5 |
| ⑥ 特に、大きな変更をしない。 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| ⑦ その他 | 1名 | 3名 | 0名 | 4 |
| ⑧ 無回答 | 0名 | 0名 | 0名 | 0 |
| | 23 | 11 | 10 | 44 |



Q2. 日本の株式への投資について、どのようにお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

| | 東京 | 大阪 | 名古屋 | 合計 |
|--|----|----|-----|----|
| ① 構造改革や企業統治改革など、個別企業の対応力に差がでくるので、アクティブ運用が活躍する可能性が大きい。 | 5名 | 2名 | 2名 | 9 |
| ② 日本と外国という区分を廃止して、グローバル株式のアクティブ運用へ一本化する。結果として、世界に通じる日本企業だけが投資対象になれば、それで十分。 | 8名 | 5名 | 4名 | 17 |
| ③ 企業統治改革の視点から、大株主としての地位に基づき、経営者との対話を重視するような運用に投資の妙味がでくる。 | 1名 | 1名 | 0名 | 2 |
| ④ 海外投資家もカバーできないような中小型株には、割安に放置された銘柄が多数存在し、魅力がある。 | 4名 | 1名 | 4名 | 9 |
| ⑤ アクティブ運用に魅力がない。投資するならば、インデクス、もしくは、スマートベータしかない。 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| ⑥ そもそも、日本株に投資する必要を感じない。 | 1名 | 2名 | 0名 | 3 |
| ⑦ その他 | 1名 | 0名 | 0名 | 1 |
| ⑧ 無回答 | 1名 | 0名 | 0名 | 0 |
| 合計 | 22 | 11 | 10 | 43 |

